



R6

つむぎ合い

2023. 11. 15

永明小学校だより

No. 7

(文責：宮下)

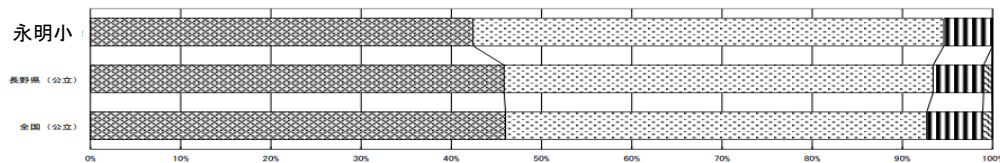


学校目標（なかよく，かしこく，たくましく）は実現していますか

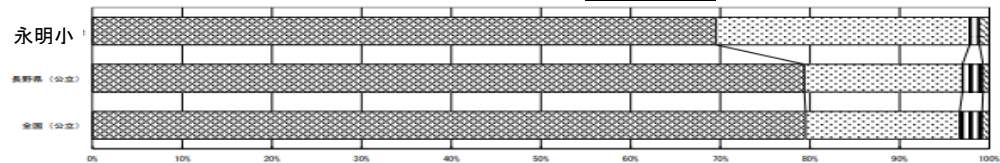
本校では、子ども同士や子どもと大人の「つむぎ合い」を通して、学校目標「なかよく かしこく、たくましく」の実現に向けて子どもが成長することをめざしています。今年4月に6年生を対象に行われた全国学力学習状況調査の結果から、その力がどのように伸びているかを考察してみました。見えてきた課題につきましては、今後の教育活動に生かしてまいります。（市教育委員会からの考察も配布いたしますので、合わせてお読みください）

☒1. 当てはまる ☐2. どちらかといえば、当てはまる ☐3. どちらかといえば、当てはまらない ☐4. 当てはまらない ☐その他 ☐無回答

① 人が困っているときは、進んで助けていますか **なかよく**



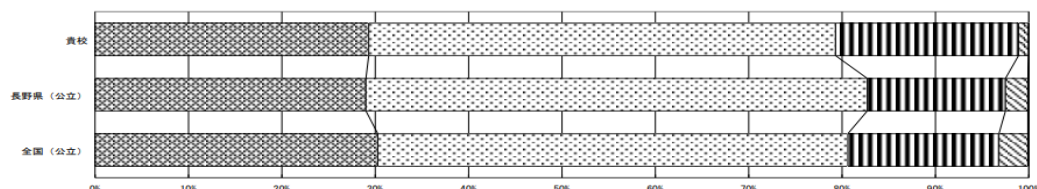
② いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか **なかよく**



なかよく いずれの質問も「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と肯定的に回答した児童が90%をはるかにこえています。今年度はなかよし旬間の機会を増やし、いじめや友情について考える時間をとってきました。いじめに気づき、勇気をもって止められるような力がつくには継続した取組が欠かせません。たて割り活動など工夫した指導を継続します。

④ 分からないことや詳しく知りたいことがあったときには、自分で学び方を考え工夫することはできていますか **かしこく**

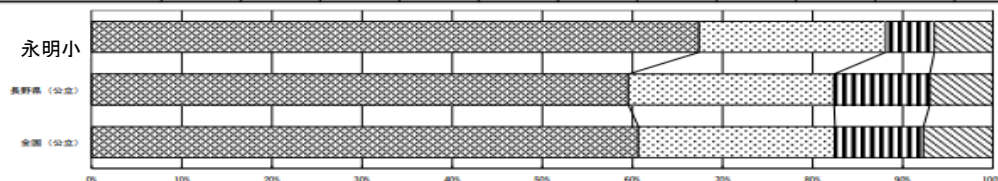
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
永明小	29.3	50.0	19.6	1.1							0.0	0.0
長野県（公立）	29.0	53.7	14.8	2.4							0.0	0.1
全国（公立）	30.3	50.4	16.2	3.1							0.0	0.1



かしこく 自分で学び方を考え工夫することについて、約80%の児童が肯定的に回答しています。今年度、本校では個別最適な学び（子どもが自分に合った学習内容や方法を選んで学習するスタイル）機会を増やしたり、新聞や本を利用して個人で調べる学習に力を入れて研究を行ったりしています。今後もそのような学習を積極的に取り入れた授業を行っていきます。

⑤ 将来の夢や目標を持っていますか **たくましく**

選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
永明小	67.4	20.7	5.4	6.5							0.0	0.0
長野県（公立）	59.5	22.8	10.6	7.0							0.0	0.0
全国（公立）	60.6	21.8	9.8	7.7							0.0	0.0



たくましく 将来の夢や目標を持つことについて「当てはまる」と答えた児童は国や県に比べて多く、地域を学ぶ学習を大切にしてキャリア教育を充実させてきた成果が見られます。このような意識は子どもの学習意欲や前向きな生活を送ろうとする気持ちに大きく関係するものと捉えています。今後も永明中学校区3校で連携し、9年間を見通したキャリア教育を行っていきます。

「国語」や「算数」の調査結果から分かってきたこと

国語や算数の調査結果から、本校の児童のよい姿、成長した姿がたくさん分かりました。以下のような特徴的な結果から、本校の今後の課題を考察してみましたのでその一部を紹介します。考察した結果につきましては、今後の全学年の授業づくりに生かしてまいります。

【国語】

思考力・判断力・表現力等における「読むこと」の平均が全国や県よりも高いです。中でも「心に残ったところとその理由を条件に合わせて書く問題」（問3三）は全国的にも無回答率が高く10%を超えていますが、本校の無回答率は約3%でした。この問題は指定された条件を満たすように作文する、答えるのに根気が必要な問題ですが、本校の児童は約9割近くが正解しました。一定の条件を満たすように作文する力は国語の授業だけで育つものではなく、朝読書を継続して行っていることや全教科で時間をかけて思考し表現する力を磨いてきたことの成果だと言えます。今後も日常の朝読書や授業の中でこのような力を付けていきたいです。

【算数】

思考力・判断力・表現力等の平均正答率は全国や県に比べて高い結果になりました。特に全国や県では課題にあげられている、「同じ道のりを歩くのにかった時間が異なる二人の速さについてその理由を説明する問題」（4の(3)）は全国や県よりかなり高い正答率になりました。算数の教科担任や少人数指導教員が連携して、日常的に式や図の意味や考え方を自分の言葉で説明する機会を意図的にとってきたことが成果として現れたと考えられます。私たちはこのような力が今後の社会を生きていく上で必要な力だと考えており、今後も全学年の指導に生かしていきます。

条件に合わせて回答することや言葉や図表、式を使い、考えていることを表現することは時間がかかることもありますが、級友と対話しながら協働的に理解を深めていけるようにして今後も大事に取り組んでいきます。また基礎基本的な知識や技能の定着には、一律に全員が同じことを学習するのではなく、スマイルネクスト（AIを活用した学習ソフト）を利用して児童が自分に合った段階を選んで学習ができるようにしたいと考えています。